

A stylized landscape illustration featuring rolling green hills in the foreground and background. On the left, there is a green tree, a purple flower, and some orange foliage. A small red bird is flying in the sky above the tree. The sky is composed of horizontal bands of light blue and white. The overall style is flat and modern.

令和7年度 福島県サービス管理責任者等研修 基礎研修

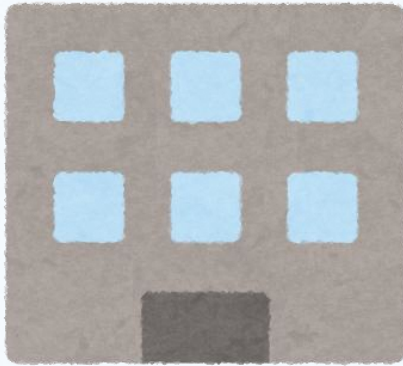
事前課題の補足説明

みなさんへの宿題

宿題①

今回の事例では、【就労継続支援B型事業所】と【共同生活援助事業所】を利用している『猪苗代太郎さん』というケースを扱います。

【就労継続支援B型事業所】



【共同生活援助事業所(グループホーム)】



それぞれこういったサービスか等について自分で調べてみてください

みなさんへの宿題

宿題②

【別紙1 事例の概要】【別紙2 アセスメントシート】【別紙3 学齢期の情報】
【別紙4 サービス等利用計画(案)】を熟読し、
記入様式1～3を作成して下さい。

記入様式1『本人を知るための地図』

①と②(私自身のストレングス)

別紙1～4をみて、
太郎さんの、生育・生活歴、今現在の希望や要望、将来の夢や希望・ストレングス(強み)等を把握します。

【記入様式1-①】 O2 ツールを使ってニーズを整理する。	
猪苗代太郎さんを知るための地図 (本人の地図)	
私の不安や苦痛・苦しみ・傷害・病氣・困りごとなど	私は今までこんな生き方をしてきました。
私は今このような生活をしています。(現在の生活)	
本人の主訴・希望 私は、〇〇で暮らしたいです。 私の今の願い・希望は〇〇です。 私は今、〇〇をやりたいです。	
私の将来の夢・希望は〇〇です。	

【記入様式1-②】 ツールを使ってニーズを整理する。	
猪苗代太郎さんを知るための地図 (本人の地図)	
私自身のストレングス	
性格・人柄/個人的特性 【現在】	才能・素質 【現在】
【学齢期】	【学齢期】
環境のストレングス 【現在】	
【学齢期】	【学齢期】

宿題②

【別紙4 サービス等利用計画(案)】を熟読し、
記入様式1～3を作成して下さい。

事例の全体像を
要点を絞りつつ要約できることも
サビ見管としての大切な役割です

[illegible]

みなさんへの宿題

宿題②

【別紙1 事例の概要】【別紙2 アセスメントシート】【別紙3 学齢期の情報】
【別紙4 サービス等利用計画(案)】を熟読し、
記入様式1～3を作成して下さい。

記入様式3『ニーズの整理表』

解決すべき課題や現状を把握し、支援者として推測できること
(〇〇『**かも**』しれない)や強み(ストレング
ス)から、『本人の真のニーズ』を探ってみ
てください。

参考資料

「ニーズ(真のニーズ)について①～⑤」を参考にしながら
「真のニーズ」について考えてみましょう！

令和6年度サービス管理責任者等研修 基礎研修 事前課題資料 04				受講番号：		氏名：	
【記入様式3】				ニーズの整理表		グループ	
利用者名：猪苗代 太郎さん							
サービス等利用計画で整理された 解決すべき課題 主訴（本人の希望）	本人の現状	支援者の推測できること 事例、本人の強み・可能性		真のニーズ			
グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい							
今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい							
困りごとは相談したい							
楽しみをみつけない							

サービス等利用計画とニーズの整理表の関係

サービス等利用計画(案)							
利用者氏名	障害支援区分	相談支援事業者名					
障害福祉サービス受給者証番号	利用者負担上限額	計画作成担当者					
地域相談支援受給者証番号	通所受給者証番号	利用者同意署名欄					
計画作成日	モニタリング期間(開始年月)						
利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)							
総合的な援助の方針							
長期目標							
短期目標							
優先順位	解決すべき課題 主訴(本人の希望)	支援目標	達成 時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価 時期	その他留意事項
1							
2							
3							



ニーズの整理表の「サービス等利用計画で整理された解決すべき課題」欄は、サービス等利用計画にある「解決すべき課題」からそのままスライドしてOK
今回のものはすでに4つの項目が記載されています

令和6年度サービス管理責任者等研修 基礎研修 事前課題資料 04				受講番号:		氏名:	
【記入様式3】				ニーズの整理表			グループ
				利用者名: 猪苗代 太郎さん			
サービス等利用計画で整理された 解決すべき課題 主訴(本人の希望)	本人の現状	支援者の推測できること 事例、本人の強み・可能性	真のニーズ				
グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい							
今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい							
困りごとは相談したい							
楽しみをみつけない							

ニーズの整理での『かも』

令和4年度サービス管理責任者等研修 基礎研修 事前課題資料 04

事業所名：

氏名：

【記入様式3】

ニーズの整理表

グループ

利用者名：猪苗代 太郎さん

サービス等利用計画で整理された 解決すべき課題 主訴（本人の希望）	本人の現状	支援者の気になること 推測できること （事例の強み・可能性）	真のニーズ
グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい		調理は、献立を一緒に立てる（考える）ことは出来る『かも』しれない	
サービス等利用計画・障がい児支援利用計画は、サービス担当者会議にサビ児管も参加して決めたものである。 ※本研修では、「事例の概要」「アセスメント表」「アセスメントシート」「学齢期の情報」をもとに【本人の地図】と【ニーズの整理表】を作成		■ スtrenグス視点 ■ リフレーミング意識 ■ 支援者の気になることはポジティブに記入	

ニーズ(真のニーズ)について ①

『主訴』は文字通り、「主な訴え」「直接的な訴え」として表面化します。
その主な訴えや直接的な訴え…その奥に隠されているのが『ニーズ』です。
支援者は、ご本人の主訴にのみ焦点を当ててしまうと、本当にご本人が望んでいることが
見えないままに支援をして、本当に必要な支援が捉えにくくなってしまう場合もあります。

特に私たちが関わっている方々は、表現したり発信したりすることが苦手な方々でもあり
ます。

だからこそ、『ニーズ』を探る作業が必要になります。

■主訴をニーズとして捉えるのではなく、主訴に隠れているニーズを探ります。

■主訴(表出されている希望)は、ニーズの1つかもしれませんが、
それが「ニーズ」とは言い切れません。ご本人の思いを全て代弁しているわけでは
ないかもしれません。

■障がいの特性やご本人の性格等にもよりますが、希望を聞かれてもその気持ち
を的確に「表現出来ているのか! ?」「表現出来ていないかもしれない」こと
を前提に置いて、支援者は考える必要があります。

ニーズ(真のニーズ)について ②

(例)

①『外出したい(外で遊びたい・過ごしたい)』



『家(室内)での居場所がないので、自分が必要とされる【居場所】がほしい』
『〇〇さんを独占したい』
『室内が騒がしくて居づらい(本当は室内でゆっくり過ごしたい)』
『1人で家にいることが寂しい…』
…かもしれない。

②『暴言を吐く・物を投げる』や『悪いことをすると楽しいから!』という発言



『寂しいのでかまってほしい』『相手をしてほしい』『うまく伝えられない』
『モヤモヤしたものを発散する為にしている?』
…かもしれない。

主訴から、
「なぜそう言っているのか?」→『なぜ?』背景を考えることが大切です!

ニーズ(真のニーズ)について ③

希望として表出される「主訴」と主訴に秘められた「ニーズ」とでは、もしかすると支援の方法や関わり方が変わってくることもあります。

その為、ご本人の背景にある『ニーズ』は、意図的にキャッチしにいかねばならないのも、支援者・サビ児管の重要な役割となります。

主訴のみを捉えてしまうと、外出したい気持ちだけをみたすような手段しか出来にくくなってしまうますが、主訴に隠されたニーズに気付くことが出来れば、「居場所」や「過ごし方・役割」といった様々な視点のもと支援を広げることが出来やすくなります。

また、太郎さんの発言から「掃除や洗濯・調理も出来ない」とありますが、『なぜ出来ないと言っているのか？』『なぜ？』

『出来ない』の意味を考えてみる(探してみる)ことも必要です。

○知らない ○わからない ○やったことがない

○興味がない ○教えてもらったことがない ○やる気がない(やりたくない)

「掃除や洗濯・調理」に注目することとは別に、『出来ない』という主訴に注目し『なぜ？』を考えることで、太郎さんの主訴に隠された「ニーズ」のヒントがあるかもしれません。

ニーズ(真のニーズ)について ④

「掃除や洗濯・調理も出来ない」

『掃除や洗濯・調理』に注目すると、それらが全て完璧に出来て『自立』なのかどうかもあるヒントにして頂ければと思います。

○「掃除」は、こういった「掃除」のことを示しての『出来ない』なのか…
(掃除機がけ？ ほうき？ 雑巾掛け？ …など)

○「洗濯」は、今すぐに全てを習得しなければならないのか…
(洗濯機に洗剤と柔軟剤を入れること？ スタートボタンを押す？ 干す？
畳む？ 片付ける？ …など)

○「調理」は、どこまでを調理としてイメージしているのか…
(包丁を使えなくてもキッチンバサミは使える？ パスタが作れなくてもレトルト
の Pasta ソースで、電子レンジを使うことが出来れば？ …など)

※掃除・洗濯・調理のことを、どこまでイメージして『出来ない』と言っている？

ニーズ(真のニーズ)について ⑤

自信をなくしつつも、自分の思いはしっかりとある太郎さんです。
お父さんに恩返しをしたい・1人暮らしの準備をしたい・働くための力をつけたい
友だちがほしい…自分のことは自分でできるようになりたい…など…

太郎さんの言葉の裏にはどんな『ニーズ』が隠されているのか…
『自立』について、どんなイメージを持っているのか…

自分で出来にくいことは、教えてもらったり、時には人をお願いしたり、
時には人の手をかしてもらったり… 誰かにヘルプを出すことも大事です。

ヘルプを出すことや誰かに手伝ってもらいながら生活することも立派な
『自立/自律』です。

太郎さんの「主訴」希望や要望から、支援者として推測できる『かも』をたくさん
考え、太郎さんの『真のニーズ』を探る作業も、基礎研修のプロセスを理解する
ことにつながります！「ニーズを整理すること」を知ってもらうことも基礎研修の重要
ポイントの1つでもあります。

太郎さんの主訴(事実)と支援者として「〇〇かな」と推測する(推測)を考える中で、「太
郎さんが〇〇」「私(支援者)は〇〇と推測する」主語を明確にして事実と推測を分けて
考え、アセスメント、ニーズ整理をして頂きたいと思います。

みなさんへの宿題

宿題③

記入様式4 『自己プロフィールシート』

サビ児管として、まずは自分自身の振り返りを行ってもらいます。
上司の方からのコメントも頂いて、受講する意味や目的を明確にしましょう！

【記入様式4】									
自己プロフィールシート									
					氏名:				
研修の最後で使用するものです。円滑な演習のためにもしっかりと記入してください。									
1 現在の職場の概要と職務内容（法人や事業所の概要・担当している業務内容・職員数等）									
2 福祉の仕事に就職した動機									
3 自分の長所や短所									
4 理想とするサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者像はどのようなイメージか									
5 上司からのコメント(下記の欄にコメントを上司より面談し頂いてください。該当者がいなければ同僚でも可)									
役職:					氏名:				
*本人の持ち味(プラス面・強み)について									
*本人への期待やどのようなサビ管・児発管になってもらいたいのか									
*基礎研修から実践研修までの2年間(6ヶ月間)に行うOJTについて、事業所(法人)としてどのような体制で行い、具体的にどのようなことに重きを置いて行うか									

みなさんへの宿題

宿題④

記入様式5『8/29(金)共通講義時に記入するもの』

みなさんへの宿題

宿題⑤

- ①自事業所のサービス管理責任者や児童発達管理責任者が、利用者様に個別支援計画書をどのように説明しているか見学してきてください。
- ②演習では、司会進行・記録(板書)・タイムキーパー・発表など様々な役割に挑戦していただきます。

※上記①②については、必須ではありません。できればやってきてくださいというものです。

みなさんへの宿題

注意事項

事前課題の提出期限

本日8/29(金)～9/3(水)必着

〒961-8061

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字上上野原5番地3

社会福祉法人 福島県社会福祉事業団

事業管理部 地域福祉課 宛

【演習当日】

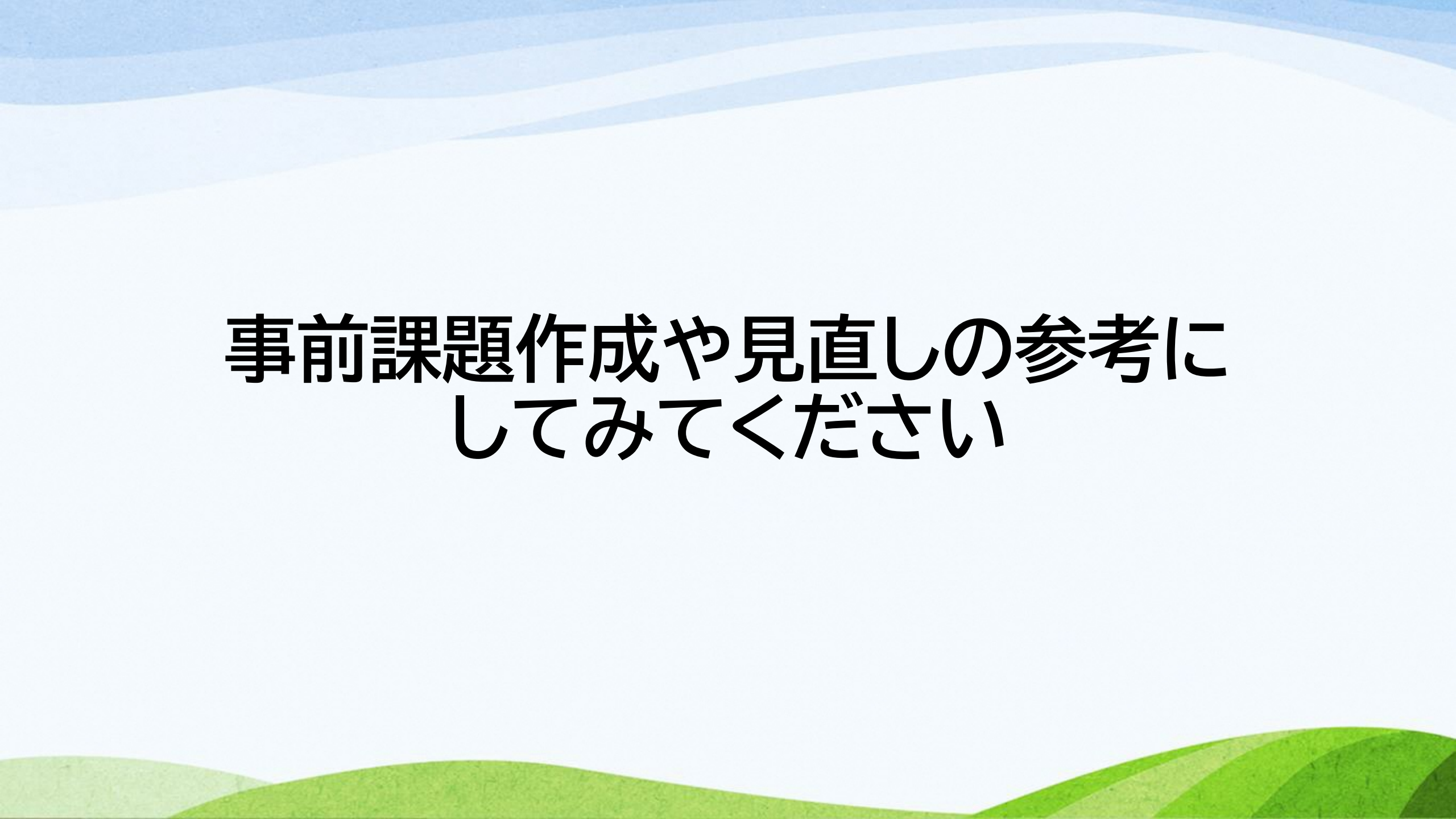
事前課題は、講義や演習の際に使用します

記入様式1～5

必ず、1部を持参してください

演習の内容と目的

Ⅱ, サービス提供プロセスの管理に関する演習(7. 5時間)		
1. 個別支援計画の作成(演習)	モデル事例を活用したグループワークにより、サービス等利用計画等示される総合的な援助方針、長期目標及び短期目標を踏まえて、個別支援計画の支援内容、担当者、連携の頻度等について検討する。それに基づき、支援目標、支援内容を設定し、個別支援計画を作成する。	270分
2. 個別支援計画の実施状況の把握(モニタリング)及び記録方法(演習)	モデル事例を活用したグループワークにより、事業所が提供している支援のモニタリングについて、サービス等利用計画等との連動性を念頭に置きながら、視点・目的・手法等を理解する。	180分



事前課題作成や見直しの参考に
してみてください